

会議録

会議の名称	第2回西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成29年11月27日 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	エコプラザ西東京（多目的室）
出席者	【委員】 山谷会長、一方井委員、三澤委員、福田委員、池月委員、平山委員、笠原委員、秋山委員、塚澤委員、渡部委員、田中委員、斉藤委員、大沢委員 【事務局】 松川部長、原島課長、都築ごみ減量係長、本多清掃係長、下田技能長、岩崎技能長、磯部技能長、宝槻技能長、江崎主任、小島主事
議題	(1) 西東京市一般廃棄物処理基本計画に基づく進捗状況について (2) その他
会議資料の名称	資料No.1 第1回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録 資料No.2 平成28年度30市町村ごみ量等集計表（多摩地域ごみ実態調査より） 資料No.3 現状把握からデータ分析によるエリア割とコース作成について 資料No.4 訪問調査報告書（28）※3,000㎡以上
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言内容等</p> <p>1 会長から開会の挨拶</p> <p>2 第1回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録について会議録は承認された。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 西東京市一般廃棄物処理基本計画に基づく進捗状況について</p> <p>(資料No.2) 平成28年度30市町村ごみ量等集計表（多摩地域ごみ実態調査より）</p> <p>(資料No.3) 現状把握からデータ分析によるエリア割とコース作成について</p> <p>(資料No.4) 訪問調査報告書（28）※3,000㎡以上</p>	

(委員の意見)

・現状把握からデータ分析によるエリア割とコース作成について

【副会長】収集ルート最適化事業はいつ頃から本格始動されるのか。

【事務局】今現在、最適な収集エリア分けと収集ルートを作成中で、平成30年10月から本格始動をする予定である。

【会 長】各車両に積んでいるタブレットによりシステム会社と連携し、収集業務の効率化を図るとのことですが、市民がアプリ等で現在の収集場所を把握できたりはしないのか。

【事務局】将来的には「ごみ分別アプリ」とリンクし、現在の収集場所を確認できるようにカスタマイズしていく予定である。

【副会長】収集ルート最適化事業により収集業務の効率化を図っているが、収集車両台数は減車できるのか。

【事務局】より最適なルートでごみを収集することで、現在よりも収集車両台数は減車できると考えており、今後は何台減車できるのか本格始動まで十分に検討してまいりたい。

【会 長】実際に収集ルートの最適化事業を導入した自治体で、収集車両台数の減車に結びつけることができたのか把握しているか。

【事務局】他自治体の清掃事業組合で収集ルートの最適化事業を行っていて、成果としては収集時間の短縮につながり、導入前は午後3時まで収集作業を行っていたが、導入後は正午で収集作業が終了するという効果があった。

【委 員】収集ルートを見直すこともよいが、実際にはごみの減量にはつながっていないのではないのか。

【会 長】収集ルートの最適化事業により、ごみの収集効率が上がるということと、市民サービスの向上を目的としているのではないのか。

【副会長】今後は収集車両台数を減車ができ、収集委託料の削減が見込まれ予算についても削減すると思われるが、違う形で市民へ還元されるということはないのか。

【事務局】収集ルートの最適化事業により、予算が削減すれば違う施策を行うことも考えられるので本格始動までに効率的なルートを模索していきたい。

- 【会 長】 今後、市としては資源物の個別収集を検討しているようなので、増加するコストを抑えることも可能になると思われる。
- 【委 員】 地域によってごみの排出量に差があると思うが、収集ルート最適化システムによって、全体を把握することが可能ならば、市民サービスの向上につながるがいかがだろうか。
- 【事務局】 収集車1台のルート最適化ではなく、収集車全体の収集体制においてのルート最適化を図っており、バランスのよい収集体制を組むことができるため市民サービスの向上につながっている。万が一交通事故を起こしてしまった場合等にも他の収集車が迅速に対応できるような体制を組んでいる。
- 【委 員】 ごみの減量には直接つながらないが、収集車両台数を減車することにより、燃料の削減につながり間接的には良くなるという考えでよいか。
- 【事務局】 最適なルートを走ることで、ご指摘のとおり燃料の削減やCO<sub>2</sub>の削減などで環境に留意した施策となっている。
- 【委 員】 ストリートビューは古いものを使用するのか。
- 【事務局】 システム業者と打合せをし、最新のものを使用し、ストリートビューで分かりにくい場所については、現地で確認しルート編成に組み込んでいる。
- 【委 員】 将来的にごみの集積所に発信機等を設置し、収集時間をデータとして仕入れたりするような計画は考えているか。
- 【事務局】 今後、資源物の個別収集を計画として考えているため、そこまでは考えていない。
- 【委 員】 収集ルート最適化事業は事業者にとってどんなメリットがあるか。
- 【事務局】 市民に対する施策のため、事業者にはメリットはない。他の施策ではあるが、事業者への対策も考えている。
- 【委 員】 より良いルートをシステムに組み込みデータ化することはとても良い施策だと思う。

・訪問調査報告書（28）※3,000㎡以上

【委員】 3,000㎡以上の大規模事業所のみではなく、もう少し拡大して事業系ごみの調査をした方がいいと思う。

【会長】 事業系ごみについては各品目のごみ量を捉え、そのうちどの位の量がリサイクルできているか把握することで、年々リサイクル率を高めていってほしい。

【委員】 コンビニ等は市に事業系ごみの量は報告していないが、ごみの量は年々増えている。分別をしっかりとすることでごみの量は減ると思うので、指導していただきたい。

（2）その他

次回の日程について